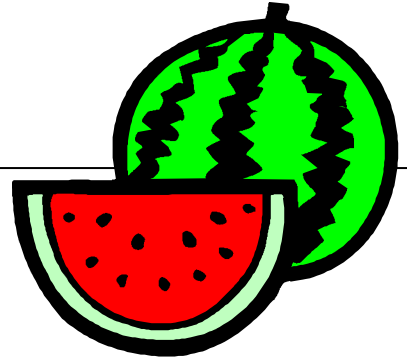
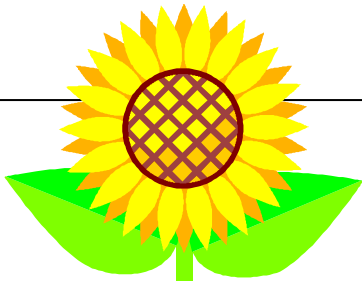


小5 森のスクール作文集

2017



《絶対に来年は！》

東大島教室 I S

私が森のスクールで一番印象に残っていることは、「テーブルマッチ」です。

「テーブルマッチ」の中でも、特に印象に残っていることは、みんなが止まっていたカレンダーの問題を、一回はまちがえたけれどすぐに正解できてとてもうれしかったことです。

他にもたくさんあるイベントの中から、「テーブルマッチ」を選んだ理由は、「テーブルマッチ」は一ページ全部の問題が正解したら、次のページに行くので、苦手単元をかんぺきにできるし、集中してできるので楽しいからです。

今回の「テーブルマッチ」でくやしかったこともたくさんあります。

一つ目はナンバー1の分数の計算の問題は簡単だったのに、何回も解けなくてくやしかったことです。

二つ目は表の穴うめ問題で、計算をすればいいだけなのに、そこでずっと止まってしまったくやしかったことです。

三つ目は、ナンバー24の問題がずっと解けなくて、5位以内に入れなかったことです。

私の来年の目標は、「絶対に5位以内に入ることです。また来年も「くやしかった。」で終わらたくないからです。そのためには毎日集中して計算をやる。苦手な単元はいつもより多く勉強して5位以内に絶対に入りたいです。



《初めての合宿》

大山教室

M N

私は今年初めて合宿にきました。最初部屋に入ったとき知らない子がたくさんいて、仲良くなれるか心配でした。でもみんな話しかけてくれたりして一日目から楽しく過ごせるようになりました。

私はこの合宿でも印象に残っているのが二つあります。一つ目は「森林浴タイムトライアル」です。初めはただ森の中を歩くだけだと思っていたけれど、子供だけで森に入り得点を競い合うゲームだったのでおどろきました。タイムトライアルは、途中算・国・理・社の問題を解きながら進むので、みんな協力しながら取り組めます。私は森林浴タイムトライアルでチームがまとまったなと思いました。二つ目は「テーブルマッチ」です。私は算数が得意ではありません。ですから、あまり出来ないと思っではいたけれどみんながとても早くおどろいてしまい、あせってしまってなかなか解けませんでした。でも、一番最後だといやだったのがんばって解こうと思いました。私はこのテーブルマッチをやってもっと算数をがんばろうと

思いました。

私はこの合宿を通して、学ぶ楽しさを知りました。同じ目的を持った友達と協力し合ったり、はげまし合ったり出来てとても心強く感じました。そしてこの経験を生かしてこれからも勉強をがんばっていききたいです。来年も楽しみです。



《森のスクールで感じた・思ったこと》

船橋教室 YH

ぼくは森のスクールで数え切れないほど、楽しいことがありました。選ぶのに苦労しましたが不得意特訓サバイバルと森林浴タイムトリアルについて書くこうと思います。

不得意特訓サバイバルで一番感じたことは、「はらはら、どきどき」です。それは、だんだんと特訓部屋に連れて行かれる人が増えていったからです。ぼくが特訓行きの点数に入りかけたこともあります。何とかギリギリでセーフで

したが一歩まちがっていたら、それこそ特訓行きとなっていたかもしれないです。ですから、学力もそうですが、やっぱり多分に運も関係してくると思います。うれしいことに決戦までのこれでした。とてもうれしかったです。

もう一つ、自分の心に残っていることがあります。それが森林浴タイムトリアルです。しつ原の中を延々とあるきながら、途中の問題を解いていくものです。これで協力するということの大切さを学びました。問題は算・国・理・社の四教科があり、各々が得意分野をとくのです。結果は2位、少しざんねんでしたが一位のチームは金剛石を拾った事が大きかったようです。1位のチームがもしも金剛石を拾わなければ、ぼくたちが一位でした。スタートの時、おのをお一つ選びました。おのの交かんの時白金のおのと、銅のおのを交かんしました。ぼくは金属としての価値として交かんするなといいました。でも銅のおのと交かんされました。結果それがよかったようで、得点が入りました。とてもうれしかったです。

《森のスクール》

大山教室 SY

私は合宿に行ったことがありませんでした。友達と4日間くらす楽しい気持ち、それとは逆の同じ部屋の子と仲よくなれるかなと思っていました。楽しみと不安がまじりあったまま長野の志賀高原につきました。すると部屋には私た

ちよりも先についていた東大島教室の2人がいました。その後、瑞江教室の人が一人きてメンバーがそろいました。

最初はドキドキしていたけれど、その日の夜にはみんなと仲よくなれてうれしかったし安心しました。

私が、この4日間、仲よくなったメンバーと取り組んだことについて、楽しかったことが3つ、つらかったことが2つあります。楽しかったことの一つ目は、2日目にたった森林浴タイムトリアルです。みんなで協力して問題を解き、体けいをこまめにとって、お互い助け合いながら進んでいきました。私にとって森林の中で何かしたのは初めてだったので、とってもとってもいい思い出になりました。2つ目はカレーコンクールです。みんなで、「あくをどうつ」 「カレー粉はこのぐらい？」と協力してつくりました。3つ目は不得意特訓サバイバルです。先生たちにつれていられるのはいやだなあと思っていました。すると、私は平面図形・円のところ得分からなくなり、特訓部屋につれていかれました。けどそのおかげで外角・内角の和の出し方、面積や表面積が得意になりました。

つらかったことの一つ目は、早期テストです。朝早く起きるのは苦手だったから大変でした。2つ目はファイナルテストです。私は国語に自信がなくて、大丈夫かなと思っていました。結果、悪くなかったので良かったです。

この合宿に来て、朝学習と計算ミスをなくすことは大事なんだなと思いました。どのイベン

とも友達とだったので楽しかったです。



《 小5森のスクール 》

東大島教室 U K

ぼくは心に残ったことが6つあります。まずはテーパーブルマッチです。ぼくはあんまり勉強で汗をかいたことがないので心に残りました。教室がかわる時いそいでいったのでとてもつかれました。二十五枚解けたけれどみやじま君や平君は三十枚以上いっていたのでくやしかったです。

次は算数不得意特訓サバイバルです。ぼくは小テストみたいなのを全部合格して最後のテストにいどみました。百点満点中三十五点だったけれど、三位になったので景品のシャープペンシルをもらいました。とてもとてもうれしかったです。

次はカレーコンクールについてです。ぼくた

ちの班はかくし味にとんかつなどにかけるソースを使いました。完成したカレーを食べたら野菜はかたくなかったし、後からからののがきたので、もうこれは一位だと思っただけで結果は三位でした。三位はかなしかったけど上位だったのでみんなとハイタッチしました。

次に心に残ったことは森林浴タイムトライアルです。途中、タイムロスしたこともありましたが、問題はかなり解きました。

次はおみやげです。ぼくはTENNY TYSを買いました。ルームの他のメンバーも買っていたので、人気なんだなと思いました。ぼくはこれを受験のお守りにしたいと思います。

最後は同じ部屋になった人と最後の夜にがんばれたことです。この合宿でみんな4日間合宿行って、今まで知らなかった友達や先生といっしょにご飯を食べたり、勉強できたり、とても充実した3泊4日だったと思います。またイベントなどでみんなと会いたいです。



《 充実しすぎている森のスクール 》

本八幡教室 S M

私が森のスクールの中で一番楽しく、印象に残ったイベントは、森林浴タイムトライアルです。私たちの班、四〇一室（ペンギンファイブ）は、二番目に出発しました。途中にあった、唯一の分かれ道では、まっすぐ進みました。しばらく何もなくて、この道で本場にあっているのかと心配になったところ、算数の広場に出て、森の精に扮した先生に出会って、ほっとしました。その後いろいろあって、タイム自体は三位。得点の順位も三位でした。先生たちの仮装や探検ゲームのようなイメージで楽しめました。二番目は算数不得意特訓サバイバルです。私は、決戦の一つ前で落ちてしまいました。テスト時間が短く、問題が難しく、大変でした。さらに、人数が減るにつれて、合格点があがっていくのもきつかった。でも普段の授業ではやれないことなので、面白かったです。

三番目はテーパーブルマッチです。私は三枚目まで終わりました。はじめてのテーパーブルマッチ。だいご味でもあると思いますが、移動が大変で、四回もしました。

森のスクールでは、この他たくさんイベントをしました。とても楽しかったので、来年も合宿に行きたいです。またみんなに会いたい、今年一番が取れなくて、悔しい思いをしたイベントも、来年はがんばりたいです。

《森のスクールについて》

王子教室

MY

この森のスクールでためになったことが二つあります。一つ目はトレーニングルームです。

トレーニングルームでは、得意な分野でもわからない問題があることに気づくことができました。

二つ目は中学入試オリエンテーションです。中学受験をした先輩たちの受験の感想や、勉強ができるためにはどうしたらよいかということをお教わりしました。

他にもいろいろ楽しいこと、学べるということがいっぱいありました。今回気づいたことをヒントにぼくは中学受験で成功を目指したいと思います。

《たくさん学べた「森のスクール」》

船橋教室

IY

私は、テーブルマッチでは、三十枚突破を目標にしていました。スタート前の先生たちの余興はとても面白かったです。そして、テーブルマッチのスタート。一枚目から十枚目までは、多少の計算ミスはあったけれど、大きなミスはなく、順調に進みました。部屋移動後の十一枚目からも問題文の読み飛ばしなどをしてしまっただけれど、止まったりはしませんでした。しかし…二十四枚目。私の苦手な図形の問題が出て、止まってしまった…。残り時間の全てはその問

題に費やされ、テーブルマッチは終了。記録は二十三・五枚。しかし、目標には届かなかったものの、自分の足りないところを見つけられた。それは、「勉強量の少なさ」。集中することももちろん大事だが、今まで問題を解く量をさぼりすぎていたことを痛感。

でも、ファイナルテストでは、スターティングテストよりは点数が上がりました。それでも結果は五位。うれしい気持ちよりも悔しい気持ちの方が大きかったです。やり直してみたら、問題文の読み飛ばしや、計算ミスで間違えたところもいくつかありました。そんなミスを今後はなくしていきたいです。

私は、この「森のスクール」で二つのことを痛感しました。一つ目は「勉強量の少なさ」です。たくさん勉強（復習）して苦手を克服したいと思いました。二つ目は、「自分の実力のなさ」です。実力がないと自分の志望校へは合格できないので、もっと頑張り、この合宿で学んだことを活かして、第一志望校に合格したいです。

